

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	北但広域療育センター 児童発達支援センター「すまいる」保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 26日		～ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	203	(回答者数) 73
○従業者評価実施期間	2025年 9月 18日		～ 2025年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 9月 26日		～ 2025年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 26
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育でのこどもの特性や状況をしっかり把握してから訪問できる。	児童発達支援事業や放課後等デイサービスの職員とも情報を共有しながら支援を行っている。	今後も連携を密にとりながら支援する。
2	保護者の困り感を聞き、訪問できる。	希望用紙に沿って保護者の困り感を聞くようにしている。	今後も相談時間や相談場所など保護者の方が話をしやすい環境を整備する。
3	訪問後、療育の場で共有できる。	児童発達支援事業や放課後等デイサービス職員とも園や学校でのこども様子を共有するようにしている。	今後も連携を密にとりながら療育場面とは違うこどもの様子など共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先によってはあまり周知されていない。	毎年、訪問支援事業のパンフレットを園や学校に配布はしているが、どこまで見ていただけているかは分からない。	パンフレットの配布だけでなく周知の方法を検討していく。
2	療育の担当者の同行が難しい。	療育担当者も可能な際は同行しているが、回数は少ない。	引き続きできる限りの調整を行う。
3			